

2007-2009作業計画における日本のGEOSS タスク参加状況

	タスク 番号	参加形態	組織名	貢献の概要
災害	1 DI-06-02 地震ネットワークの改善、実施	貢献	防災科学研究所	インドネシア等に広帯域地震計を設置し、オンラインでデータを取得することにより、全地球地震観測網の機能向上に貢献する。
		貢献	海洋研究開発機構	IFREEが維持する西太平洋地域の陸上及び海底地震観測ネットワークを改良して全地球地震観測網の機能向上に貢献する
	2 DI-06-03 干渉SAR技術の統合	貢献	情報通信研究機構	高性能航空機SAR開発
		貢献	産業技術総合研究所	経済省開発の衛星画像(JERS1/SAR・PALSAR)による干渉SAR技術開発研究の強化
	3 DI-06-04 全球レベルの津波早期警報システムの実施	貢献	国土地理院	主にALOSを用いて干渉SARデータによる地殻変動等の検出を行う。
		貢献	宇宙航空研究開発機構	InSARの研究開発を継続する。
健康	4 DI-06-09 リスク管理のための衛生利用	貢献	海洋研究開発機構	地球内部変動研究センター(IFREE)が維持する西太平洋地域の陸上及び海底地震観測ネットワークによりリアルタイム地震情報の交換を促進する
		貢献	情報通信研究機構	海洋レーダー開発による津波検出研究実施
	5 DI-06-13 全球レベルの火災警報システムの実施	貢献	産業技術総合研究所	GEO Gridによる衛星データの整備の推進
		貢献	宇宙航空研究開発機構	災害チャーターおよびセンチネルアジアの活動を確実に実施する。GPMデータの洪水対応への利用を検討する。
	6 DI-07-01 洪水のリスク管理	貢献	農林水産研究計算センター	森林火災早期発見システム等既存のシステムの実運用を継続する。
		貢献	森林総合研究所	日本の森林火災危険度図の作成を実用化レベルで継続する
気候	7 HE-07-03 統合的大気汚染モニタリング、モデリング及び予報	貢献	宇宙航空研究開発機構	センチネルアジアを確実に運用し、洪水対策に貢献する。
		貢献	海洋研究開発機構	東アジア・ロシア地域における大気汚染ガス(オゾンとその前駆ガス)とエアロゾルの同時・長期観測ネットワークを確立することにより、衛星データの検証を行うだけでなく、衛星観測では不可能である日変化・立体観測を長期間実施し、長期的大気組成変化検出が可能な体制を確立する。
	8 CL-06-01 再処理及び再解析活動の維持	貢献	気象庁	JRA-25再解析プロダクト及びJMA気候データ同化プロダクトを各国気象水文機関及び研究コミュニティへ公開することにより気候監視及び気候研究に貢献する。
		貢献	国立環境研究所	GOSATデータを全球炭素収支推定に利用する。IGCOユーザーコミュニティへのGOSATデータ提供を検討する。
	9 CL-06-02 衛星システムの主要な気候データ	貢献	宇宙航空研究開発機構	CEOS-GCOS間の調整結果を、JAXAミッション計画へ反映することを検討する。GOSATユーザーコミュニティに対するGOSATデータ提供を検討する。
		貢献	海洋研究開発機構	JAMSTEC (IORGC) は下記の観測網を維持する。 1) 東シベリアからモンゴル地域における陸域水循環、安定同位体に関する地上観測網 2) 東南アジア、インドネシア、西太平洋における大気観測網(レーダー、ウインドプロファイラ、GPS、安定同位体、降水)。これらはWCRP/MAHASRIの一環として行われる。
10 CL-06-03 気候のための主要な地上観測	貢献	海洋研究開発機構	JAMSTEC (IORGC) は下記の活動を行う。 1) 北極海変動に関わる海洋-海氷-大気相互作用を把握するため、漂流ブイによる自動観測を実施。国際極年観測に貢献。 2) 海水激減海域である太平洋側北極海において、2008年度「みらい」による北極海観測を実施。本航海は北極海における唯一の日本主導提案IPY航海。 3) Asia CliC およびDIAS の下で、北ユーラシア地域の氷河、積雪、凍土の観測と解析を通じてIPY 期間に雪氷圏の現状・水文気象状況を把握する。また連携のための会議をコーディネートする。	
	貢献	気象庁	JCOMM活動、アルゴ、GLOSS、篤志船観測計画及びNEAR-GOOSへの参加並びに観測船の運用と漂流ブイの展開を通じて全球海洋観測システムに貢献する。	
11 CL-06-05 GEOSSによる国際極年への貢献	貢献	海洋研究開発機構	JAMSTEC (IORGC)は下記の活動を行う。 1) アルゴ計画(ARGO Project)の主要メンバーとして、太平洋、インド洋、南大洋に約90台のアルゴフロートを投入する。太平洋に展開されたフロートデータの品質を監視する。 2) WCRP/IOCCPのメンバーとして、全太平洋域で観測船による観測を実施する。Argo品質管理支援、太平洋の蓄熱量変化、二酸化炭素量変化を監視する。 3) インド洋熱帯海域に、新たに開発した係留ブイを設置して、国際的な熱帯ブイ網の強化に貢献する。	
	貢献	海洋研究開発機構	JAMSTEC (IORGC)は下記の活動を行う。 1) WCRP/MAHASRIに關係し、モンスーンシステム・MJO解明のため、東南アジアからインドネシア地域にかけた水循環の観測(レーダー、ウインドプロファイラ、GPS、安定同位体、降水)と解析を実施する。 2) 西太平洋からインド洋にかけて、レーダー観測を主体とした観測網を維持し、雲降水システム、大気-海洋相互作用解明に関する解析を実施する。 3) フラックス観測、流域観測、安定同位体観測網を維持し、東ユーラシアの高緯度水循環を解明する。 4) 国際諸計画の連携のための会合を開催する。	
12 CL-06-06 全球海洋観測システム	貢献	気象庁	JCOMM活動、アルゴ、GLOSS、篤志船観測計画及びNEAR-GOOSへの参加並びに観測船の運用と漂流ブイの展開を通じて全球海洋観測システムに貢献する。	
	貢献	海洋研究開発機構	JAMSTEC (IORGC)は下記の活動を行う。 1) アルゴ計画(ARGO Project)の主要メンバーとして、太平洋、インド洋、南大洋に約90台のアルゴフロートを投入する。太平洋に展開されたフロートデータの品質を監視する。 2) WCRP/IOCCPのメンバーとして、全太平洋域で観測船による観測を実施する。Argo品質管理支援、太平洋の蓄熱量変化、二酸化炭素量変化を監視する。 3) インド洋熱帯海域に、新たに開発した係留ブイを設置して、国際的な熱帯ブイ網の強化に貢献する。	
水	13 WA-06-02 干ばつ及び水資源管理のための予測モデル	貢献	水災害・リスクマネージメント国際センター/土木研究所	河川流域における水質を含めた統合水資源管理のための水循環モデルの開発
		貢献	宇宙航空研究開発機構	能力開発のためのWorkshopをアジアで開催する。
	14 WA-06-07 統合地球観測水資源管理	貢献	情報通信研究機構	GPMへの協力、亜熱帯環境観測センターでのGPM検証研究
		貢献	海洋研究開発機構	JAMSTEC (IORGC) は、下記の活動を行う。 1) WCRP/MAHASRIに關係し、モンスーンシステム・MJO解明のため、東南アジアからインドネシア地域にかけた水循環の観測(レーダー、ウインドプロファイラ、GPS、安定同位体、降水)と解析を実施する。 2) 西太平洋からインド洋にかけて、レーダー観測を主体とした観測網を維持し、雲降水システム、大気-海洋相互作用解明に関する解析を実施する。 3) フラックス観測、流域観測、安定同位体観測網を維持し、東ユーラシアの高緯度水循環を解明する。 4) 国際諸計画の連携のための会合を開催する。
	15 WA-08-01 水資源モニタリングのための衛星とin-situデータの統合: 河川等の圏際管理を支援する定常的な衛星観測メカニズムの構築。現場観測及び衛星観測データとモデルの計算結果を統合する定常的な全球水循環データ統合システムの実施計画の策定。国際シンポジウム、ワークショップの開催。	貢献	海洋研究開発機構	JAMSTEC (IORGC) は、東ユーラシア地域の氷河、湖沼、積雪分布と変動を衛星やDEM、他のデータから導出する。
		リード	東京大学	定常的および研究に基づく現場観測コミュニティと、地球観測衛星委員会(CEOS)宇宙局および世界気象機関(WMO)に所属している数値予報(NWP)センターとの間を調整するメカニズムを創設する必要がある。我々はCEOPをこのメカニズムのプロトタイプとして参照することができる。
気象	16 WE-06-01 気象のための地表の全球観測システム	貢献	情報通信研究機構	都市環境センシングネットワークプロジェクトの実施
		貢献	海洋研究開発機構	JAMSTEC (IORGC) は、インドネシア地域のレーダー観測網等を充実させ、当該地域における豪雨予測、水資源管理に貢献する。
17 WE-06-02 気象のための衛星による全球観測システム	貢献	情報通信研究機構	GPM, EarthCAREへの寄与	
		貢献	水災害・リスクマネージメント国際センター/土木研究所	河川流域における洪水・水資源管理に利用することを目的とした、衛星観測による雨量プロダクトの精度向上

生態系	18	EC-06-01 統合全球炭素観測 (IGCO)	貢献	産業技術総合研究所	GEO Gridによる衛星および地上観測データの整備の推進
			貢献	農業環境技術研究所	アジアフラックスネットワークの活動を推進する
			貢献	国立環境研究所	AsiaFlux事務局として森林CO2フラックス観測ネットワーク構築を支援 - 民間航空機を用いた広域CO2分布観測システムの構築 - 船舶を利用した大気海洋間の広域CO2フラックス観測システムの構築
	19	EC-06-02 生態システムの分類	貢献	宇宙航空研究開発機構	IGCOユーザーコミュニティに対するGOSATデータ提供を検討する。
			貢献	農業環境技術研究所	タスクフォースへの参加
			貢献	海洋研究開発機構	JAMSTEC (FRGCG/ECRP) の行っている生態系に関わる現地観測(CO2, N2O, CH4フラックス, 光合成有効放射量, バイオマスなど)について、観測データの交換を推進するネットワークの一翼を担う。また、生態系に関する衛星観測データや、モデリングによってシミュレートされた生態系データに関しても、ネットワークの拠点として役割を果たす。
農業	20	AG-06-01 GEOSS農業戦略計画	貢献	農業環境技術研究所	東南アジアの森林生態系観測能力を高める
			貢献	農業環境技術研究所	観測手法の提示・調整への参加 農業生態系における炭素収支、温室効果ガス発生地上観測アップスケール手法の検討に参加 農業生態系における炭素収支、温室効果ガス発生地上観測・モデリング研究コミュニティの調査を実施
			貢献	海洋研究開発機構	衛星リモートセンシング推進委員会農業WGに委員を派遣している。また、GCOM総合委員会、GPM利用検討委員会に委員を派遣している。
	21	AG-06-04 森林マッピング及び変化モニタリング	貢献	海洋研究開発機構	衛星観測による植生のデータより、各地の森林の経年変動と天候との連動を明らかにし、森林資源の管理に活かす。また、亜寒帯林バイオマスの現地調査を行い、今後の植生変動を知るための基準データセットを作成する。さらに、衛星観測による広域バイオマス分布の推定方法を確立する。
			貢献	森林総合研究所	日本で作成された東南アジアの森林被覆図を収集する
			貢献	国土地理院	ISCGM事務局として全球樹木被覆率データ作成、及び全国土地被覆データを作成。
22	AG-06-07 農業分野の訓練モジュール	貢献	農業・食品産業技術総合研究機構	農業に関わる研修モジュール設計に協力	
		貢献	海洋研究開発機構	衛星観測による植生データや気象データより、農作物の収量、価格、保険金額を推定する経験モデルを構築する。収量、価格、保険金額などを予測するための植生-気象-農業に関する統合データベースを構築し、農業のリスク管理に資する。	
		貢献	海洋研究開発機構	衛星観測による植生データや気象データより、農作物の収量、価格、保険金額を推定する経験モデルを構築する。収量、価格、保険金額などを予測するための植生-気象-農業に関する統合データベースを構築し、農業のリスク管理に資する。	
		貢献	農業環境技術研究所	高頻度観測衛星データによる東アジア域の農業的土地利用及びその変化のデータセット作成	
23	AG-07-02 農業リスク管理	貢献	農業環境技術研究所	高頻度観測衛星データによる東アジア域の農業的土地利用及びその変化のデータセット作成	
		貢献	農業環境技術研究所	高頻度観測衛星データによる東アジア域の農業的土地利用及びその変化のデータセット作成	
24	AG-07-03 定常的な農業モニタリングシステム	貢献	農業環境技術研究所	高頻度観測衛星データによる東アジア域の農業的土地利用及びその変化のデータセット作成	
		貢献	農業環境技術研究所	高頻度観測衛星データによる東アジア域の農業的土地利用及びその変化のデータセット作成	
生物多様性	25	BI-06-03 歴史的生物多様性データの把握	貢献	農業・食品産業技術総合研究機構	データ管理・共有手法の設計に関して協力
			貢献	農業・食品産業技術総合研究機構	データ管理・共有手法の設計に関して協力
利用者	26	US-06-01 社会的利益分野間のプライオリティ及びシナジーの特定	貢献	宇宙航空研究開発機構	ロードマップに基づいて、優先すべきタスクの識別の検討に貢献する。
			貢献	宇宙航空研究開発機構	ロードマップに基づいて、優先すべきタスクの識別の検討に貢献する。
構造	27	AR-07-01 GEOSSアーキテクチャの主要原則	貢献	産業技術総合研究所	OGCおよびOGFの標準化に従った衛星および地上観測データのためのGEO Gridアーキテクチャーの推進
			貢献	宇宙航空研究開発機構	GEOSSの相互運用性取決めの議論に参加し、検討に貢献する。
			貢献	国土地理院	日本のSDI構築の経験を生かし、GEOの枠組みに貢献する。
	28	AR-07-02 GEOSSアーキテクチャの実施パイロット	貢献	宇宙航空研究開発機構	JAXAカタログシステムをClearinghouseに接続し、貢献する。
			貢献	宇宙航空研究開発機構	JAXAカタログシステムをClearinghouseに接続し、貢献する。
	29	DA-06-01 GEOSSデータ共有原則	貢献	宇宙航空研究開発機構	専門家として会合等に参加し、検討に貢献する。
貢献			宇宙航空研究開発機構	GEOS/WGCVを通じて検討する。	
貢献			宇宙航空研究開発機構	GEOS/WGCVを通じて検討する。	
貢献			宇宙航空研究開発機構	GEOS/WGCVを通じて検討する。	
30	DA-06-02 GEOSS品質管理戦略	貢献	宇宙航空研究開発機構	GEOS/WGCVを通じて検討する。	
		貢献	宇宙航空研究開発機構	GEOS/WGCVを通じて検討する。	
31	DA-06-04 データ、メタデータ、及びプロダクトの調和	貢献	国土地理院	全球陸域の基盤的地理情報を構築する地球地図プロジェクトの推進によりGEOの枠組みに貢献	
		貢献	国土地理院	全球陸域の基盤的地理情報を構築する地球地図プロジェクトの推進によりGEOの枠組みに貢献	
32	DA-06-05 基礎地理情報のガイダンス文書：関連の国家、地域及びグローバルなイニシアティブを考慮しつつ、基礎的地理所湯法に関するガイドラインを作成する。	リード	国土地理院	タスクの貢献者と協力して基礎的地理情報のガイドラインを作成する。	
		リード	国土地理院	タスクの貢献者と協力して基礎的地理情報のガイドラインを作成する。	
データ管理	33	DA-07-01 数値標高モデル(DEM)相互運用性	貢献	産業技術総合研究所	GEO Gridによる衛星画像からのDEMの整備の推進
			リード	宇宙航空研究開発機構	DEMの相互運用性の議論に参加し、検討に貢献する。 ALOS後継機によるDEMスタンダードの適用を検討する。
			貢献	国土地理院	地理情報標準など、相互運用性を考慮した書式での整備・提供可能性を検討
	34	DA-07-02 全球土地被覆	貢献	産業技術総合研究所	GEO Gridによる衛星画像を利用した土地被覆情報の整備の推進
			貢献	国土地理院	ISCGM事務局として全球土地被覆データ作成、及び全国土地被覆データを作成。
			貢献	農業・食品産業技術総合研究機構	GeoGRIDシステムと協調して機能しながら分散する気象データベース群やセンサーネットワーク群を仮想統合するシステムの開発
35	DA-07-03 コンスタレーション(衛星の連携)	貢献	農業環境技術研究所	MODISデータによる東アジア域の農業的土地利用及びその変化のデータセット作成	
		貢献	宇宙航空研究開発機構	ALOSデータの利用を検討する。	
36	DA-07-05 高次レベルのデータプロダクトのツール	貢献	国立環境研究所	IGCOユーザーコミュニティに対するGOSATデータ提供を検討する。	
		貢献	宇宙航空研究開発機構	GPMコンステレーションの構築を検討する。	
37	DA-07-06 データ統合・解析：地球観測データの大幅な増加に伴い、今後データ管理設備は、既存のデータセンターとの協力の下、大容量・多種多様な観測データの取扱が必要となる。そのため、大容量・多種多様なデータの処理・分析・可視化を含む、処理から保存、配付にいたる観測データのライフサイクルのあり方を含むデータ管理アプローチを調整する。	貢献	海洋研究開発機構	多様かつ異質な海洋分野におけるデータを効果的に管理できるシステム化に貢献する。	
		リード	東京大学	第一段階として、既存のデータ統合・解析システムの間の協調において、包括的で効果的なデータマネージメント・アプローチのために国際的な協力を行う枠組を構築することが必要である。	
			貢献	宇宙航空研究開発機構	国内におけるデータ統合・解析システムを構築する。